

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

小田急多摩線延伸 27 年開通を！

小田急多摩線は新百合ヶ丘駅から唐木田駅まで開通して利用されていますが、その先の延伸が語られて久しい時期が過ぎています。議会や議員は住民要望を受け止め、議員連盟を作ってその必要性について声を大にして主張してきました。

近年、町田市行政も小田急延伸の必要性をようやく受け止め、そのことを施策にも盛り込み、延伸の予定駅である相模原駅（JR相模原駅）を要する相模原市と共同歩調を取り、調査を行い、延伸運動を始めました。そのスローガンでは、2027 年（リニア中央新幹線と同時）開通を目指しています。

私は、今回の一般質問において、多摩市長に町田市の理事者（＝市長）がトップ会談を働きかけ、3 者（相模原市、町田市と新たに多摩市）が一体になって小田急多摩線延伸を求めるべきだと主張しましたが、今一つ、具体的な言葉を引き出すことができなかつただけでなく、町田市の取り組みのトーンの低さを感じた次第です。

インターン生が議会の一般質問を傍聴



ごみ袋・高齢者への一律無料配布は不公平

(第 3 定例会における一般質問テーマ)

町田市は 70 歳以上の人々に一律に「ごみ袋」の無料配布を行っています。しかも、個人別に行っているために、2 人とも 70 歳以上の世代では 2 人分が配布される愚を犯しています。中には、ごみ袋を「ごみ」に出している事態も起きていると伺いました。

「ごみ袋」の有料化は、前市長時代にごみ減量を図る過程で導入したもので、その排出量で住民に公平な負担を求めた施策でした。高齢者の生活が大変だと言う理由で有料のごみ袋を無料で配布し続ける施策は、世代間の公平な負担を目指す納税者主権の立場からは容認しがたい施策です。現実には高齢者の収入が一律に低いわけではなく、財産では他の世代よりより豊かであるケースが大です。むしろ、若い世代では収入が少ない場合や財産がほとんどないケースが多数あります。

そうした意味で、今後も 70 歳以上の人たちに対して、一律にごみ袋の無料配布を続ける施策は、世代間で不公平なことであり、とりわけ若い世代に高齢者優遇の不信感をもたらすものです。この収入や財産に関わらず、70 歳以上の人々に一律にごみ袋の無料配布する制度を取りやめるべきだと訴えました。

こうした町田市の行政施策が簡単に転換されるとは思えませんが、私は様々の機会をとらえて、世代間で不公平な施策の廃止を求めていきます。

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑤ 稲葉千岬

今回のインターンシップでは町田市の自由民権資料館へ行きました。自由民権資料館では民権家の中島信行と俊子について取り上げ、展示されていました。中島信行を扱う理由は二点あり、一つに町田近辺に由縁があること、二つに立憲政治が始まった頃には悪戦苦闘しながら初の衆議院議長をつとめたという点です。家に帰ってから中島信行と町田の関係を調べてみると、第 1 回衆議院議員総選挙で神奈川県第 5 区（現在の相模原市とその周辺）から立候補して当選したからではないか、ということがわかりました。

中島信行は土佐の下級藩士でした。学問が非常に良く出来た中島信行はあるとき「このままじゃだめだ」と思い脱藩します。一時長州藩に身を置きその後長崎で坂本龍馬の海援隊で対外交渉を担当し、交渉の頭角を現しました。その後その交渉の能力を買われ、今でいう神奈川県庁や自由民権運動のリーダーの一人として活躍します。また、立憲政治が始まり初代衆議院議長も務めました。

(勉強の後は頭を休める時間：町田リス園)



昭和女子大学 2 年生 稲葉 千岬(第 36 期生)

研修レポート② 石井優希

京都に生まれた俊子は、小学校の頃より「俊才」と呼ばれ、早くから書に親しみ、文人としての才能を開花させていきました。小学校卒業後、京都府女子師範学校（教員養成を目的とした旧制の学校）に入学するも病気のため退学します。その後、十六歳にして漢学塾を開きます。また明治十二年には榎村正直らの推挙で宮中に出仕し、十八歳にして「孟子」などの漢学を皇后に進講しますが、その二年後には病気のため辞任することとなります。



昭和女子大学 3 年生 石井優希(第 36 期生)

その後、俊子は演壇に立つようになります。女子教育の価値観そのものを変えたかった俊子は、「男女同権論」よりも「男女平等論」、男女が社会的に同等な地位となることを目指して演説をしていたといいます。精力的に活動していた俊子ですが、明治十六年に滋賀県で行われた「女子学術演説会」での「函入娘」の演題が政治批判と疑われ、有罪となってしまいます。その翌年上京し、中島信行と出会い、明治十八年に結婚します。以後、中島湘煙の筆名で執筆活動を盛んに行いつつ、新栄女学校を経てフェリス和英女学校で教鞭をとることとなります。女性民権運動の先駆者として活動してきた俊子は、明治三十四年に結核で他界します。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)